

レジメン番号	0654	レジメン名	BDR
登録診療科	血液内科	使用薬剤	ベルケイド、リツキサン
がん腫	原発性マクログロブリン血症	インターバル日数	21日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 ( / )	Day4 ( / )	Day8 ( / )	Day11 ( / )	…Day21	Day1 ( / )
ベルケイド 1.3 mg/m <sup>2</sup>	皮下	mg	↓	↓	↓	↓	3週間を1コース	↓
リツキサン/ リツキシマブ BS 375 mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg				↓		
デキサート 16.5mg/body	点滴 or 経口	20mg	↓	↓	↓	↓		↓

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①ベルケイド	3mg	生食 1.2mL	皮下注
②リツキサン/ リツキシマブ BS	100mg 500mg	生食で 10 倍希釈	※1 医師の指示通り/輸注ポンプ
③デキサート	3.3mg	生食 100mL	15分/点滴

【day1,4,8】

投与間隔≫ ③ 15分/点滴 → ① (皮下注) → 終了

投与順番≫

【day11】

投与間隔≫ ②開始 30 分前に  
ロキソプロフェン 60mg1T 又は  
投与順番≫ アセトアミノフェン 500mg 1T  
+d-クロルフェニミン 6mg 1T を内服 ④ (メインルート/持続) → ③ 15分/点滴 → ② ※1 → ① (皮下注) → 終了

【備考】

④メインルート：生食 AY (500mL)

※1 リツキサン投与速度：初回投与時、最初の 30 分は 50mg/h で開始し、患者の状態を十分観察しながら、

注入速度を 30 分毎に 50mg/h ずつ上げて、最大 400mg/h まで速度を上げることができる。

2 回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキシマブ BS は(1)のみ選択可能)

・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/h で開始し、その後 30 分毎に 100mg/h ずつ上げて、

最大 400mg/h まで上げることができる。(1mg/ml に希釈しているときのみ選択可能)

・臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が

5,000/μL 未満である場合、90 分で投与 (最初の 30 分：投与量の 20%、その後 60 分：投与量の 80%)

